



大腸 CT 検査 (CT colonography : CTC)

わが国で 2014 年にがんで死亡した人は、368,103 例 (男性 218,397 例、女性 149,706 例) です。そのうち男性で最も多いのは肺がん、次に胃がん、大腸がんと続きます。一方、女性で最も多いのは大腸がん、次に肺がん、胃がんという順になります。大腸がんは、男女を合わせた死亡数では 2 位となり、近年死亡数が増加しています。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸 4 位、直腸 7 位
女性	大腸	肺	胃	膵臓	乳房	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸 2 位、直腸 9 位
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸 3 位、直腸 7 位

(2014 年 がん死亡数順位 国立がん研究センターがん情報サービス)

【大腸がんの検査】

大腸がんの検査は、検診で便潜血検査を行い、便潜血反応が陽性の場合に精密検査として大腸内視鏡検査を行うのが主流です。しかし大腸がん検診の受診率は、一次検査のスクリーニングである便潜血検査で 30~40%、さらに便潜血検査で陽性となった場合の二次精検受診率は、約 50%程度と言われており、決して高くありません。そこで二次検査の選択肢を増やし、受診率の増加を目指して開発されたのが大腸 CT 検査 (CT コロノグラフィー : CTC) です。

【大腸 CT 検査とは】

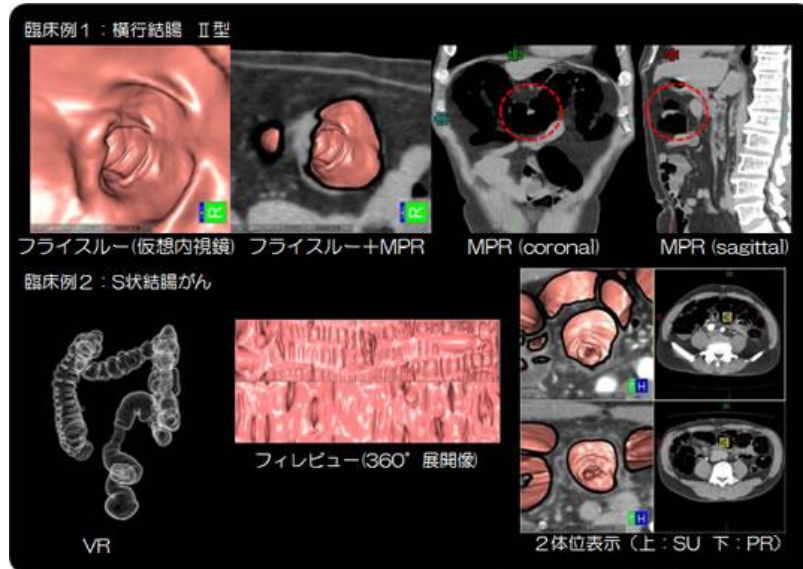
下剤を服用してきれいにした大腸に、炭酸ガスを注入して大腸を膨らませます。その状態で CT 撮影を行い、膨らんだ大腸をいろいろな画像に再構成して診断を行います。

実際の検査は、大腸の動きを抑える鎮痙剤を筋肉注射し、体内への吸収速度が空気の約 130 倍速い炭酸ガス(二酸化炭素)をお尻から注入して大腸を膨らませて、うつぶせ・あお向けの 2 体位で撮影します。撮影自体は 10 分程度です。



(炭酸ガス注入・撮影)

撮影されたデータは、専用の画像解析装置で解析処理され診断します。



(大腸CT検査データ解析、診断画像)

【大腸 CT 検査の特徴】

大腸 CT 検査は他の大腸検査と比較して、大腸をきれいにすることで下剤の服用量が少ない、検査時間が短い、体外からの撮影のため苦痛が少ない等の特徴があります。しかし、大腸 CT 検査で病変が発見された場合には、大腸内視鏡検査を受けることが必要になります。

長 所

短 所

<ul style="list-style-type: none"> ・短時間(約10分程度)の検査 ・体外からの撮影であるため苦痛が少ない。下剤の服用量が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・体外からの撮影であるため、病変の色や固さの情報が得られない
<ul style="list-style-type: none"> ・大腸内視鏡の挿入が困難な方でも検査が容易 ・他の大腸検査で問題となる合併症が極めて稀 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の採取ができないため、異常が検出された場合は大腸内視鏡を受けることが必要
<ul style="list-style-type: none"> ・3次元的に観察できるため、大腸全体像や病変の形状を正確に把握可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療被ばくがあるため、妊娠の可能性のある方は検査を受けることができない
<ul style="list-style-type: none"> ・腹部を撮影するため大腸以外の臓器情報の把握可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・平坦な病変や5mm以下のポリープ様病変の抽出精度は大腸内視鏡に比べて劣る

*大腸 CT 検査は、当院においても開始を検討しております。検診にて便潜血反応陽性の方や自覚症状があり、大腸検査をご希望の方は、外来にて医師にご相談ください。

健康診断のご予約やご相談は、Tel.03-3668-6806 へご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局

Tel.03-3668-6803/E-mail:mail@soiken.or.jp